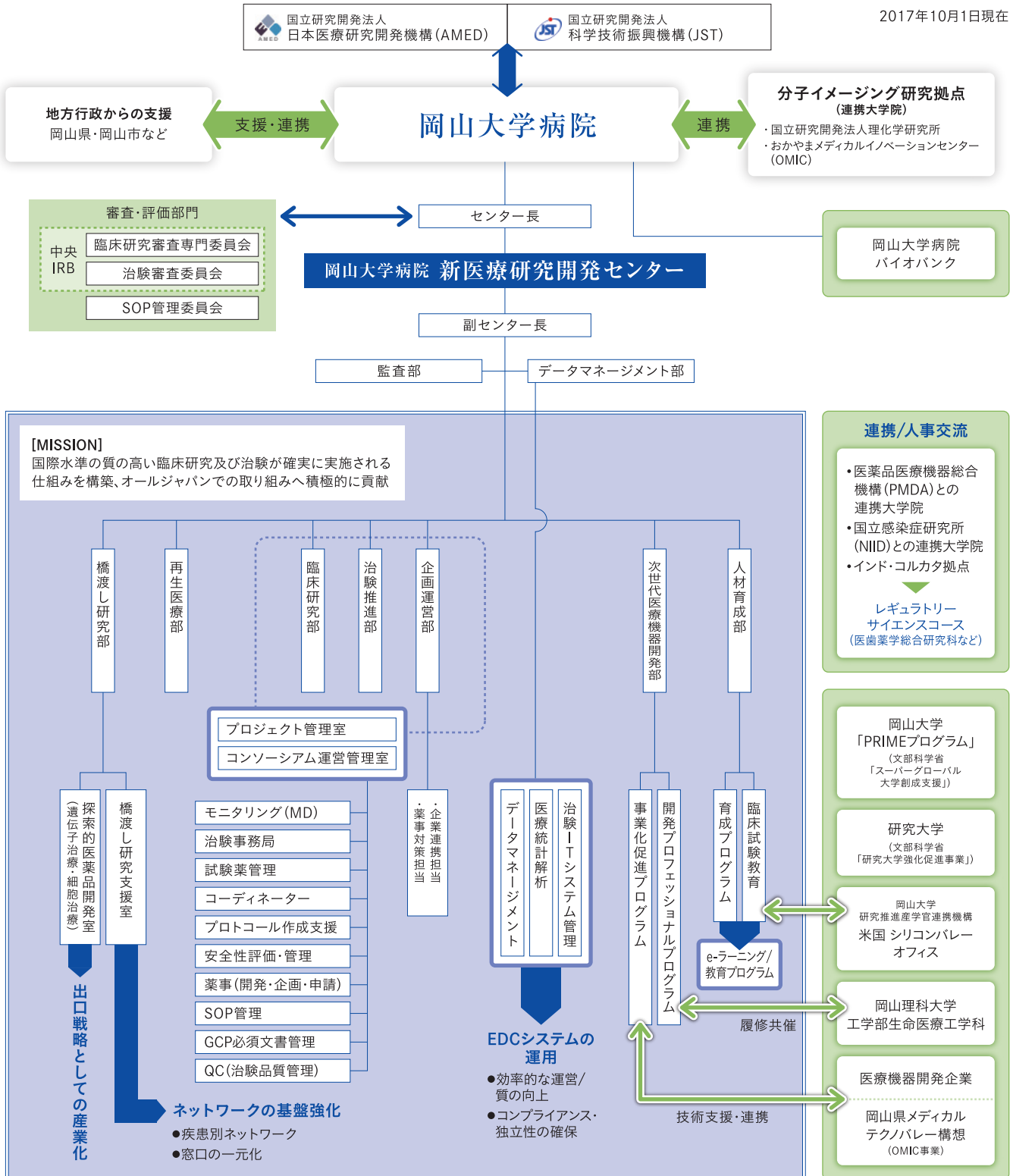


新医療研究開発センター

新医療研究開発センターは「高度な医療をやすく提供し、優れた医療人を育てます。」という岡山大学病院の基本理念を実現するために、臨床研究・治験・橋渡し研究・医療機器創出を総括的に企画推進する組織です。次世代に向けた新たな医療（再生医療、遺伝子治療、細胞治療、最新医療機器など）を開発し実用化を実践します。岡山大学病院のグローバル医療ネットワークを活かし、世界レベルでリードする革新的医療そして優れた人材を創出していきます。

2017年10月1日現在



地域を牽引し、世界からの期待に応える スーパーグローバル大学・研究大学として

岡山大学長 挨拶



岡山大学長
槇野 博史

岡山大学は、現在、11学部、7研究科、3研究所、大学病院、附属学校を備え、2万人の学生、留学生、教職員が、知的創造に取り組む、日本屈指の総合大学の1つです。

岡山大学は「高度な知の創成と的確な知の継承」を理念に掲げ、地元・岡山とともに国際的な研究・教育拠点としての「実りの学都」に飛躍していくことを目指しています。

2013年に文部科学省の「研究大学強化促進事業」に選定され、翌2014年には文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援（Top Global University Project）」に採択されました。さらに、2017年には、医療法上の「臨床研究中核病院」に認定及び、日本医療研究開発機構（AMED）の「橋渡し研究戦略的推進プログラム」に採択され、我が国屈指のポテンシャルを持つ大学へと飛躍しております。

岡山大学は中国・四国地方の拠点として、皆様とともに国策である医療イノベーションを実現し、世界水準の研究・教育・地域医療の充実をさらに目指しております。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしく願いいたします。

岡山大学病院長 挨拶



岡山大学理事(医療担当)・
岡山大学病院長
金澤 右

「向きあう、つながる、広がる」、英語ではFacing your face, Facing our community, Facing the worldが、私たち岡山大学病院の合言葉です。革新的医療技術創出拠点として、「向きあう、つながる、広がる」のコンセプトはまさしくそのプロジェクトに合致するものと考えます。

私たちは、医療現場で患者さんと「向きあう」ことにより、今求められているシーズを見出し、橋渡し研究につなげたいと思っています。また、中国四国地方唯一の拠点として、中国四国地方を中心とする大学などのアカデミア、あるいは岡山大学の関連病院を中心とする中央西日本臨床研究コンソーシアムなどと「つながり」、革新的医療技術創出の拠点としての機能を果たしたいと考えております。そして非常に大事なのが、創出する技術をぜひ世界に「広げる」ことだと思います。世界に「広がる」価値ある橋渡し研究を、拠点としてサポートしていきたいと考えております。

再生医療、ゲノム医療、医療用ロボット開発等々、様々な革新的な医療開発が急激に進む今、AMEDが我が国の橋渡し研究を革新的に進めていく本事業は、ある意味今後の我が国の先端的医療の方向性を決めていく可能性があります。そのような中、岡山大学の立ち位置がまさしく問われており、岡山大学病院は可能な限りの力をもって、拠点事業に尽力いたしたいと考えております。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長 挨拶



岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科長
那須 保友

岡山大学は、健康寿命の延伸を目指した多様なニーズに対応した医療分野での研究開発を視野に見据え、基礎研究の成果を臨床試験に一貫して繋ぐ為の橋渡し拠点を整備してきました。

また、国際水準の橋渡し研究・治験を担う拠点として、中国・四国地区のアカデミアに対して必要な支援を行い中心的な役割を果たすとともに、次世代医療の実現及び新たな産業を創出することが岡山大学の使命であり、橋渡し研究加速ネットワークプログラム第Ⅱ期の約2年半の間にその為の体制を急速に整備してまいりました。

現在、新医療研究開発センターを中心として、中国・四国地区の主要な医療機関群からなる中央西日本臨床研究コンソーシアムと協働し大規模かつ迅速な臨床試験の実施が可能であり、岡山大学病院に設置されたバイオバンクと連携することにより、イノベーションに直結する新規の疾患関連マーカーの探索が行われています。今後も拠点大学として革新的医療技術創出を実現することをミッションとし、基礎研究に基づくシーズの再現性・信頼性保証、知的財産権及びシーズ等のデータベース構築、開発戦略立案から出口戦略まで一貫してサポートできるプロジェクトマネジメント体制をさらに深化させてまいりたいと存じます。